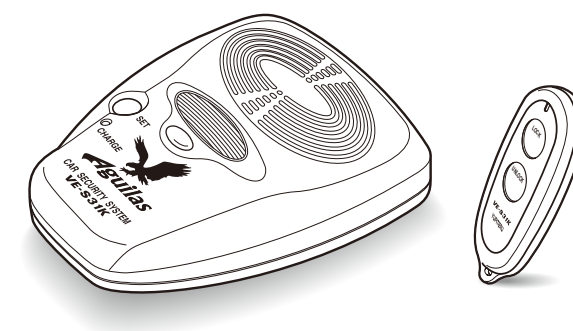




VE-S31^K

取扱説明書



このたびは、Aguilas「監視郎 VE-S31K」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目次	
はじめに	ご使用の前に ----- 2
	ご使用にあたって ----- 3
	各部の名称 ----- 4
	基本接続図とセット内容 ----- 5
	リモコンの電池の入れかた ----- 6
使いかた	オートキーレス機能 ----- 7
	セキュリティユニットに 電池を装着する ----- 14
	充電する ----- 15
	セキュリティユニットの ローバッテリーアラーム ----- 15
	センサー感度の設定 ----- 16
	セキュリティユニットの 各種設定 ----- 17
	セキュリティを設定する ----- 18
	監視中に異常を感知すると ----- 19
	その他
仕様 ----- 21	
別売品 ----- 21	
アフターサービスについて ----- 22	
保証書 ----- 裏表紙	

⚠ 警 告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

⚠ 警 告

取り付けできる車を、お確かめください。

本機を取り付けられる車は、弊社オートキーレス適応表で適応車種としての記載のある車のみです。適応に関するお問い合わせは、最寄りの弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

■次の2つの条件を満たしている車に取り付けられます。

- オートキーレス適応表に適応車種として記載のある車
- 12V車で、⊖アースの車

※他社製エンジンスターター、ターボタイマーとは併用できません。

ご使用の前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- ⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- 🚫 ⌛ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 電波法に関してのご注意

- 🚫 ● セキュリティユニット裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 🚫 ● 海外では使用しないでください。
- 🚫 ● 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

⚠ 警告

- 🚫 心臓ペースメーカーなどの医療用機器をご使用のお客様は、電波による医療機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
- 🚫 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機の設定をしない…動きを感知し、警告・警報機能がはたらき、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。
- 🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 🚫 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 👉 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐにセキュリティユニット接続プラグを抜き、電池を取りはずす…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 🚫 コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- 🚫 ぬれた手でセキュリティユニット接続プラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにセキュリティユニット接続プラグを抜き、取りはずした電池とともに本機をご持参のうえ、販売店に修理をご依頼ください。
- 🚫 指定の電池以外は使用しない…安全のため、専用電池以外は使用しないでください。

🚫 注意

- 🚫 セキュリティユニット接続プラグを抜くときは、コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずセキュリティユニット接続プラグを持って抜いてください。
- 👉 お手入れの際は、セキュリティユニット接続プラグを抜き…感電の原因となります。

ご使用にあたって

使用上のご注意

- 付属のニッケル水素電池をセキュリティユニットに装着後、使用前に車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)1時間以上充電してください。
※走行中に充電され、エンジンを切る(エンジンキーをOFF)と自動的にセキュリティが設定されます。
- 強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報する場合があります。
- ウィンドウに雪が積もっていると、接近を感知できにくい場合やできないことがあります。
- ガソリンの給油などエンジンを切って車内に待機する際は、スタンバイ時間中にセキュリティユニットのSETボタンを押して、セキュリティを解除してください。
- 車輦の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近感知ができなくなり、感度が低下する場合があります。

本機は、センサーにより異常を感知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラ、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

—— 日頃から防犯をお心がけください ——

- ① エンジンキーを付けたままの状態から離れない。
- ② 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- ③ 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- ④ 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- ⑤ 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

■ご使用の前に

⚠ 注意 本機の機能について

ご使用の前に、この「本機の機能について」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 車から離れるときは、エンジンキーと本機のリモコンを必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合において、本機リモコンではドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、アンロックエリアが狭くなったり、ドアアンロックできない場合があります。
エンジンキーでエンジンを始動している場合(ACCまたはON)は、本機リモコンによるドアのロック/アンロックはできません。
- リモコンの持ちかた、携帯の方法(バックの中や、ポケットの中)によっては、アンロックエリアが狭くなることがあります。また、エンジン始動中は、ノイズの影響により通信可能な範囲(通信エリア)が狭くなることがあります。
- 本機はセンシングリロック機能により、自動的にアンロックエリアを変更して、ロック状態を保持しますのでエンジンキーの閉じ込めに注意してください。
※ アンロック後、荷物をつみ降ろす場合などには、エンジンキーをACCにしてください。

本機取り付けによる車や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

セキュリティユニット

拡張ユニット接続端子

何も接続しません。
※今後、拡張ユニットが用意された場合にご使用
いただく端子で、現状では何も接続しません。

警告ランプ (高輝度クリプトンランプ)

警告・警報中に点滅します。

SETボタン[SET]

警告音キャンセル機能、監視解除、スタン
バイ時間の設定を行います。

バッテリーインジケータ[CHARGE]

(高輝度LED:緑色)
充電中は点灯します。
ローバッテリーを検出すると、約10秒間点滅します。

ストラップ取付け穴



サイレン

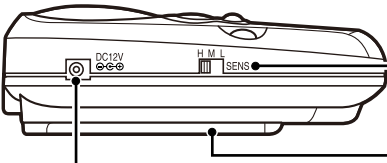
警告・警報音を出力します。
110dB/15cm

スピーカー

ビープ音、ボイスアラームを出力します。
ボイスアラーム 70dB/15cm以上

みはりインジケータ (高輝度LED:赤色)

車のエンジンキーがOFFになった後、
監視状態に入るまでは早い点滅をします。
監視状態では遅い点滅になり、
盗難やイタズラを未然に防止します。



DC12Vジャック[DC12V]

セキュリティユニット接続コードから電源を供給し、
装着したニッケル水素電池への充電を行います。ま
た、エンジンキーOFFを検出したときには、約1秒後
にスタンバイ時間となり、その後、一定時間後に自動
的に監視状態になります。

感度切替スイッチ[SENS]

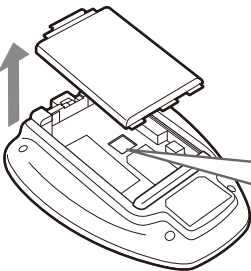
センサー感度を3段階に切り替えます。

バッテリーカバー内

ディップスイッチ
警報モード、ボイスアラームの
日本語・英語を選択できます。

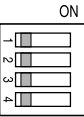
電池収納部

付属のニッケル水素電池を装着します。



※工場出荷時全てOFF側

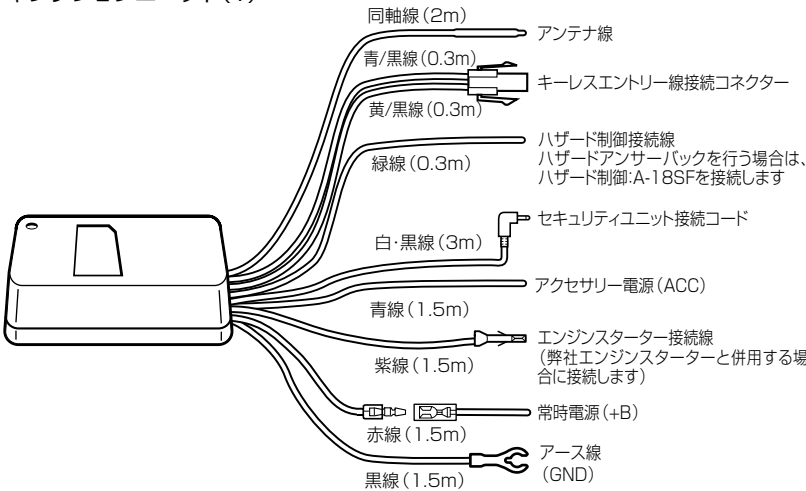
	OFF	ON
1 ドア開検出	音声+サイレン	サイレン
2 車外検出	警告音	音声+サイレン
3 音声切替	日本語	英語
4 未使用		



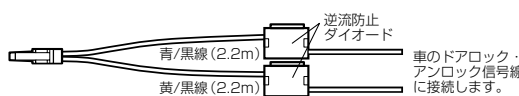
基本接続図とセット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

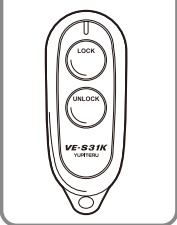
●ジャンクションユニット(1)



●キーレスエントリー線 (1)



●リモコン (1)



●セキュリティユニット



- サンバイザークリップ (1)
- マジックテープ (1)
- 両面テープ (1)
- ワーニングステッカー (1)
- セキュリティユニット用
ニッケル水素電池 (1)
- リモコン用電池: CR2032 (2)
- エレクトロタップ (5)
- タイラップ (大1、小2)
- コードクリップ (2)
- コードクリップセット (1)
- 取扱説明書・保証書(本書) (1)
- 取付説明書 (1)

※ ワーニングステッカーは、自動車の前面ガラスおよび運転席側面ガラス
には貼りつけないでください。

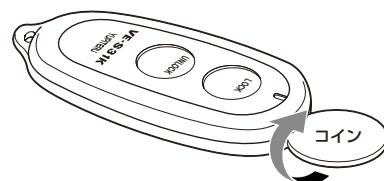
リモコンの電池の入れかた(交換のしかた)

ご購入後、はじめて本機を使用するときは以下の手順で付属の電池を装着してください。

また、リモコンのインジケータランプが点滅したら(ローバッテリー表示)、同様の手順で新しい電池(CR2032×2)と交換してください。

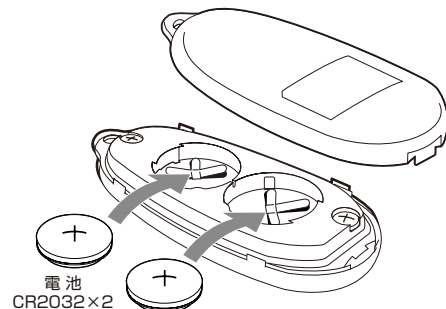
1 リモコン上部にコインを差し込み、裏蓋をはずす。

※ 左右のツメを折らないように注意してください。



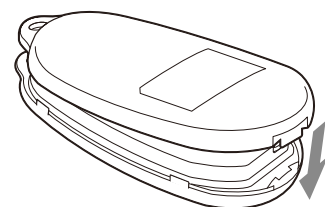
2 電池を入れる。

※ 電池の向きに注意してください。



3 裏蓋を合わせはめ込む。

※ 電池を交換すると、「オートキーレス機能を使用する」(11ページ参照)に設定されます。



⚠ 警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池寿命の目安

※ 電池の寿命は、使用する条件によって異なります。

オートキーレス機能を使用して、約10カ月使用できます。

※ 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。

※ 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようにご注意ください。

オートキーレス機能

次ページに続く

オートキーレス機能について

本機のオートキーレス機能は、リモコン所持者が“車から離れるとロック(施錠)”“車に近づくとアンロック(解錠)”を自動で行う画期的なシステムです。

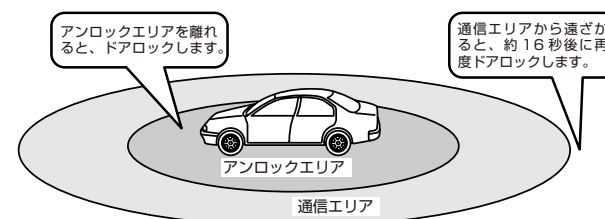
本機は、リモコンが自動的に信号を送信し、リモコンを携帯した人が近づくと、ドアをアンロック(解錠)しセキュリティが一時的に解除されます。離れるとリモコンの信号がなくなることによってドアをロック(施錠)します。

※ アンロック動作によるセキュリティ解除は一時的(設定しているスタンバイ時間分60秒またはオート)な解除となりますので、アンロック後は速やかに車に乗りエンジンキーをACCにしてください。

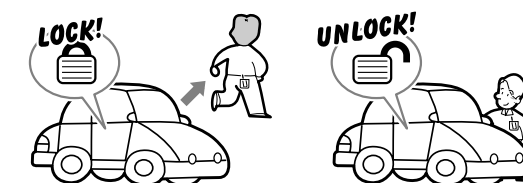
オートキーレス機能を停止して、ボタン操作(マニュアル操作)のみでドアロック/アンロックすることや、オートキーレス機能設定時でも、ボタン操作(マニュアル操作)でドアロック/アンロックすることもできますので、必要に応じてお使い分けてください。また、ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。

ダブルロック機能について

オートキーレス機能設定中にエンジンキーをACCからOFFにして、通信エリアから遠ざかると、約16秒後に再度ドアロックを行います。



※ ダブルロック時には、一度アンロックしてからロックするように設定されています。これは一部の車種において運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされないなどを防ぐためです。ダブルロック時にアンロックを行わないを選択することもできます。(本書12ページ「ダブルロック動作設定」をご参照ください)



スリープ機能について

14日以上、エンジンの始動またはエンジンキーでの操作が行われないと、車のバッテリー保護のため、スリープモードが動き、本機リモコンによるオートキーレス機能やマニュアル操作でのドアのロックやアンロックができなくなります。

スリープモードはエンジンキーをACCにすると解除できます。

⚠ 使用上のご注意

必要以上にアンロックエリアを広げないでください。

(オートキーレス機能のアンロックエリアの範囲はリモコンで変更できます。詳しくは12ページの「アンロックエリアを変更する」をご覧ください)

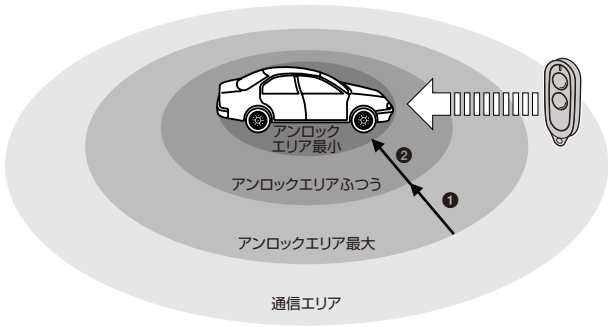
センシングリロック機能について

本機リモコンがアンロックエリア内にあると、ドアがアンロックされますが、アンロック後、車輻のアクセサリ電源がONにならないと約20秒後にセンシングリロック機能により、アンロックエリアの設定レベルを2段階下げ、リモコンの有無(信号の有無)を確認します。リモコンからの信号がない場合はドアがロックされ、信号を受信している場合でも、約20秒以内にアクセサリ電源がONにならないと、さらにアンロックエリアを最低レベルに変更して、確実なセキュリティ状態を保持します。アンロック後、荷物をつみ降ろす場合などには、エンジンキーをACCにしてください。また、別売 追加リモコンを登録した場合も、どちらか一方のリモコンがアンロックエリア内にあるとドアがアンロックされます。車輻内にリモコンを保管する場合は、保管するリモコンのオートキーレス機能を停止してください。

※マニュアルロック操作では、センシングリロック機能は働きません。
※1BOXカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、エンジンキーをACCにしてください。



●センシングリロック機能の動作
アンロックエリアを最大にしている場合



車に近づきアンロックエリアに入るとドアがアンロックされます。

さらに車に近づくまたはその場に留まる

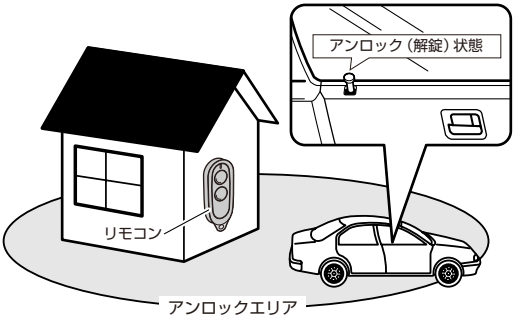
20秒以内にエンジンキーがACCにならないとアンロックエリアが最大からふつう(2段階下げる)に変更(矢印①)
※アンロックエリア最大範囲内に20秒以上留まったときはドアがロックされます。

さらに車に近づく

アンロックエリアが最大からふつうに変更され、さらに20秒以内にエンジンキーがACCにならないとアンロックエリアがふつうから最小(最小エリアまで下げる)に変更(矢印②)
※アンロックエリアふつう範囲内に20秒以上留まったときはドアがロックされます。

※センシングリロックによるアンロックエリアの設定変更は、エンジンキーをACCにするとユーザー設定レベルに戻ります。

●住居の近くに駐車している場合など、本機リモコンや追加リモコン(別売オプション)が車の近く(アンロックエリア内)にあるときは、ドアがアンロック(解錠)され、センシングリロック機能により約40秒後にアンロックエリアが最小レベルに設定されます。
オートキーレス機能でドアアンロックが設定した位置で動作しないような場合は、センシングリロック機能が働いている可能性が考えられます。このような場合はアンロックエリアを現在の設定よりも車に近づく方向に設定していただくかリモコンの保管位置を変更してください。



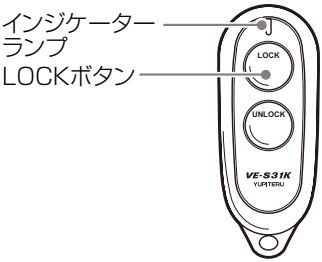
リモコンを車内に放置しないでください。

荷物の積みおろしなどで、ドアアンロックを維持する場合は、エンジンキーをACCにしてください。

マニュアル操作によるドアのロック/アンロック操作について

オートキーレス機能設定中/停止中に関わらず、マニュアル操作でのドアのロック/アンロックができます。

ドアをロック(施錠)する

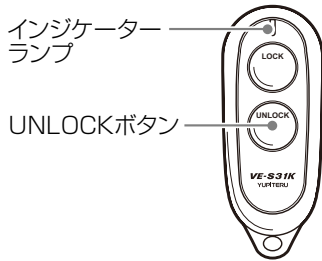


リモコンの操作

LOCKボタンを押す

インジケータランプが約2秒点灯して、ドアがロックされます。
別売オプションA-18SF：ハザード制御を接続していると、ハザードランプが1回点滅します。
※ オートキーレス機能停止中はインジケータランプが3回点滅して、ドアがロックされます。

ドアをアンロック(解錠)する



リモコンの操作

UNLOCKボタンを押す

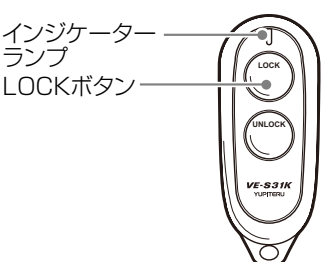
インジケータランプが約2秒点灯して、ドアがアンロックされ、一時的(設定しているスタンバイ時間60秒またはオート)にセキュリティ解除となりますので、アンロック後は速やかに乗車しエンジンキーをACCにしてください。スタンバイ時間を経過すると警告・警報します。
別売オプションA-18SF：ハザード制御を接続していると、ハザードランプが2回点滅します。
※ オートキーレス機能停止中はインジケータランプが3回点滅して、ドアがアンロックされます。

- マニュアル操作でドアをアンロックした後、車から離れる場合は、必ずドアのロック状態を確認してください。
- ⚠ ● 14日以上エンジンの始動がないと車のバッテリー保護のため、スリープモードが働き本機リモコンによるオートキーレス機能や、マニュアル操作でのドアのロックやアンロック操作ができなくなります。スリープモードはACC ONで解除できます。

オートキーレス機能を使用する/停止する

⚠ 安全のため、エンジンが停止している状態で設定を行ってください。また設定中、リモコン操作によって車のドアがロック/アンロックされますのでご注意ください。

オートキーレス機能を停止する

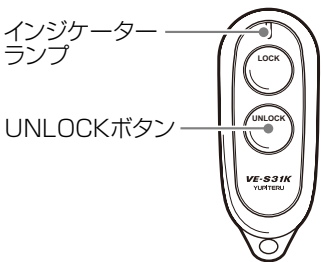


リモコンの操作

LOCKボタンを5秒以上押す

インジケータランプが3回点滅して、セット完了です。

オートキーレス機能を使用する



リモコンの操作

UNLOCKボタンを5秒以上押す

インジケータランプが約2秒点灯して、セット完了です。
※ すでにオートキーレス機能を設定している場合は、インジケータランプは点滅しません。

- ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。
 - ※ アンロックエリアとマニュアル操作が可能な範囲(通信エリア)は異なります。オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲にエリアを設定してください。
 - ※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。

ローバッテリー時の動作について

リモコンの電池が消耗すると、常時インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は早めに新しい電池と交換してください。さらに電池の消耗が進むと、インジケータランプの点滅が消えて、リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。

ローバッテリー表示中は自動的にオートキーレス機能を停止します。(ドアロック/アンロックはマニュアル操作でのみ動作します) また、電池交換後は「オートキーレス機能を使用する」に設定されますので、必要に応じてオートキーレス機能の停止やアンロックエリアの変更を行ってください。

アンロックエリア、ダブルロック動作設定を変更する

アンロックエリアは、状況に応じて5段階に変更できます。（工場出荷時はアンロックエリア大に設定されています）ドアロックが確認できる範囲にアンロックエリアを切り換えて使用してください。

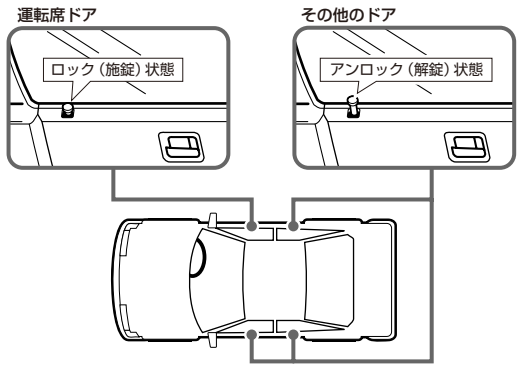
アンロックエリアの変更は、車内でエンジンキーを抜き、エンジンが停止した状態で行ってください。

※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。
ドアのロックは、アンロックの動作よりも比較的遠い距離で動作します。

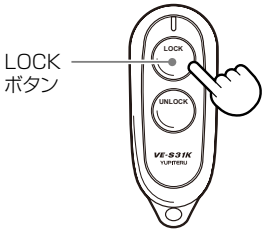
ダブルロック動作設定について

ダブルロック時には、一度アンロックしてからロックするように設定されています。これは一部の車輛において運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされないなどを防ぐためです。本機取付車輛で、ダブルロック時にアンロックを行わないを選択することもできますが、安全のため以下の動作をお確かめください。

1 運転席ドアをロックし、その他のドアをアンロック状態にしてすべてのドアを閉じる



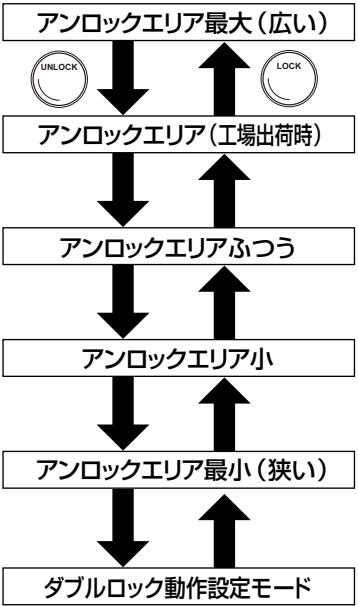
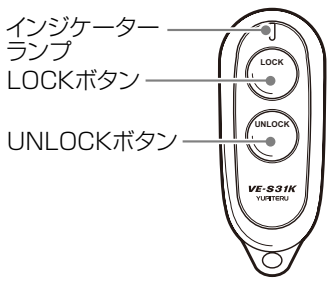
2 本機リモコンのマニュアル操作でドアロックを行う



3 すべてのドアがロックされていることを確認。
すべてのドアがロックされていない場合は、安全上ダブルロック時に一度アンロックしてからロックを行う(工場出荷時)の設定をおすすめします

※ ダブルロック動作設定の変更をする場合には13ページをご覧ください。

アンロックエリア、ダブルロック動作設定を変更する(つづき)



注意

安全のため、必要以上にアンロックエリアを広げないください。
ドアロックが確認できる範囲に設定してご使用ください。

メモ エンジンキーをACCからOFFにすると、その直後のアンロックエリアを狭くする機能が働き、設定したアンロックエリアよりも狭い範囲でドアロックします。

リモコンの操作

1 LOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押す
インジケータランプが点滅します。

2 アンロックエリアの設定
UNLOCKボタンを1回押すごとに、アンロックエリアが狭くなります
LOCKボタンを1回押すごとに、アンロックエリアが広がります

現在の設定に応じてジャンクションユニットからビーブ音が鳴ります。

ダブルロック動作設定

アンロックボタンを数回押して「ピーピーピー」または「ピーピピッ」と鳴るまで押す

現在と異なる動作に設定されました、ダブルロック動作設定を変更しない場合は、アンロックエリアの設定を行ってください。

アンロックエリア最大(広い)	ビー	
アンロックエリア大	ビビビビッ(工場出荷時)	
アンロックエリアふつう	ビビビッ	
アンロックエリア小	ビビッ	
アンロックエリア最小(狭い)	ビッ	
ダブルロック動作設定モード	ダブルロック時一度アン ロック後にロックを行う	ピーピーピー (工場出荷時)
※次回から有効となる設定に 対応したビーブ音が鳴ります。	ダブルロック時にロック のみ行う	ピービビッ

※アンロックエリアとダブルロック動作設定を同時に設定することはできません。

3 設定が終わったら、再度、LOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押す

インジケータランプが1秒間点灯し、ジャンクションユニットから“ピーピッ”と鳴り設定完了です。また、10秒間操作がないとジャンクションユニットから“ピーピッ”と鳴り、変更した設定内容で終了します。（自動終了）

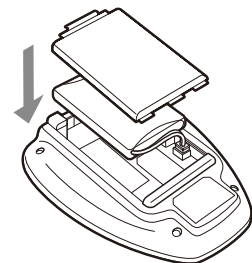
※ アンロックエリアの設定を変更した場合は、安全のため、必ず実車にてご確認ください。周囲の環境によっては設定した状況と使用状況に差が生じることがあります。

セキュリティユニットに電池を装着する

はじめてご使用になるときは、付属のニッケル水素電池を装着後、1時間以上充電してください。また、電池を装着する際はセキュリティユニット接続コードをはずした状態で装着してください。セキュリティユニット接続コードが接続された状態で電池を装着すると、音声アラームが鳴りません。

※充電中は本機バッテリーカバー付近が熱くなりますが、故障ではありません。

- 1 バッテリーカバーを開け、電池のコネクターを、ケース内のジャックに差し込み、電池を収納する



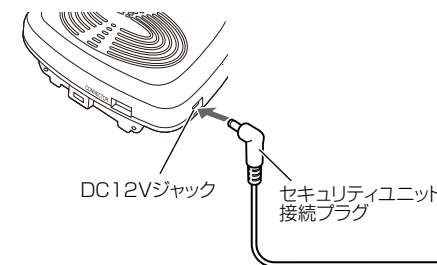
- 2 コードを挟まないように注意して、バッテリーカバー閉める

- 本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。新しい電池と交換するときは、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にご相談ください。
- 電池には寿命があります。十分な充電ができなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください)

充電する

- 1 セキュリティユニット接続プラグを、セキュリティユニットに差し込む

※セキュリティユニット接続プラグは確実に接続してください。接触不良があると、走行中に警告・警報を発することがあります。



- 2 車のエンジンをかけて、充電する

エンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)と、バッテリーインジケータが点灯します。

常にセキュリティユニット接続プラグを接続した状態でご使用ください。車の走行中(エンジンキーがACCまたはON)、自動的にセキュリティ動作を解除して充電*し、エンジンを切る(エンジンキーをOFFにする)とセキュリティが設定されます。

*充電時間の目安

- …電池の状態に応じて初期充電または急速充電を行い、1～2時間でフル充電されます。(1時間の充電により約1週間の連続監視(一連の警告・警報×2回を含む)ができます)
- …急速充電中は充電電流が大きくなり、本機バッテリーケース付近が熱くなりますが故障ではありません。

セキュリティユニットのローバッテリーアラームについて

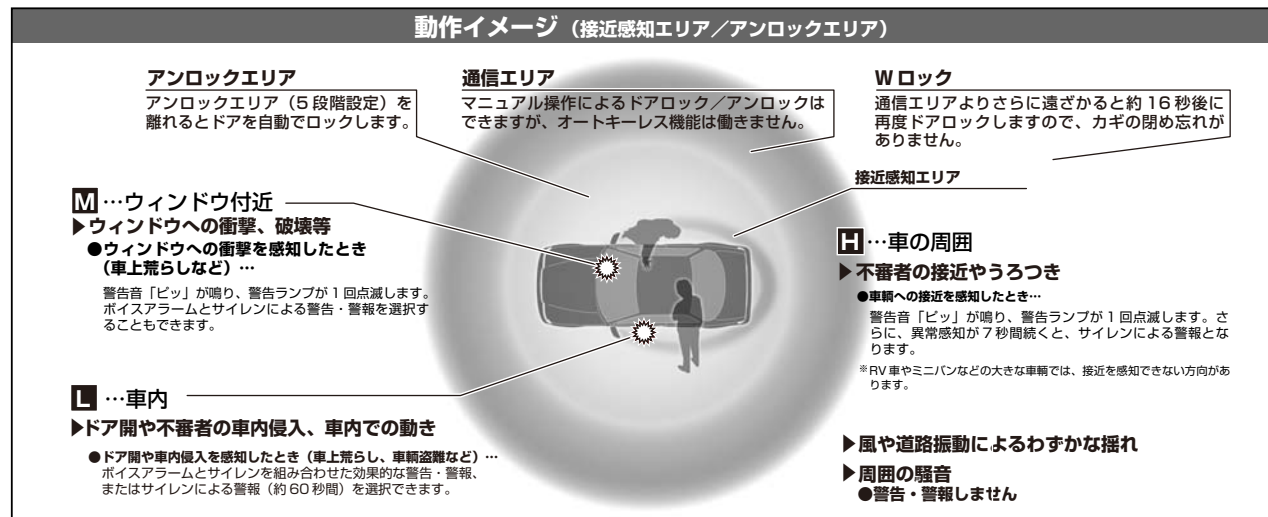
電池の容量が低下したときには、バッテリーインジケータが点滅(約10秒間)してアラーム音(『ビビビッ、ビビビッ、ビビビッ』)が鳴ってから、ボイスアラーム(日本語『電池の容量がありません』または英語『Battery needs charging』)で知らせます。



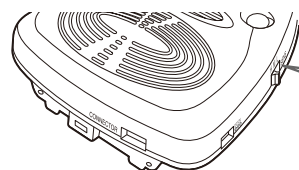
- 電池が完全に消耗したときには、バッテリーインジケータやボイスアラームが動作しません。また、エンジンをかけた(エンジンキーをACCまたはON)ときにローバッテリーアラームが鳴るのは充電不足です。このような場合には、使用する前に、1時間以上充電してください。
- 電池には寿命があります。充電が十分できなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください)交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

センサー感度の設定

感度切替スイッチを切り替えて、車の大きさや駐車環境にあわせてセンサー感度(検出エリア)を設定します。また、本機取付場所(サンバイザー、ダッシュボード)によってもセンサー感度が変わることがあります。
※ミニバンやRV車などの大きな車輦では、下記3段階感度設定の動作イメージとは異なる場合や、接近を感知できない場合があります。



上記動作イメージとは異なる場合があります。車輦の大きさや周囲の環境により、「M」に設定している場合でも、接近感知をする場合や「H」設定でも、接近感知ができないことがあります。実際の動作を確認のうえ、感度設定を行ってください。
ボイスアラーム、サイレンによる警告・警報中は数秒ごとに警告ランプが点滅します。
車輦の前方向は、機構上、接近感知ができません。ウィンドウへの衝撃は感知できます。



●感度設定の目安



高感度 (H)

車輦周辺の動体に対して、警告・警報をしたいとき



通常感度 (M)

サイド・リアウィンドウ付近の動体に対して、警告・警報をしたいとき



低感度 (L)

ドア開や車内侵入に対してのみ警告・警報をしたいとき

上記目安を参考に実際の動作を確認のうえ、感度設定を行ってください。Mに設定している場合でも、接近感知をする場合や、H設定でも接近感知ができないことがあります。このような場合は、感度切替スイッチの設定を変更するか、本機の取付場所を変更して、車輦の大きさや周囲の環境に合わせた設定を行ってください。

セキュリティユニットの各種設定

本体バッテリーカバー内のディップスイッチで、警報モード、ボイスアラームの日本語、英語の切り替えができます。

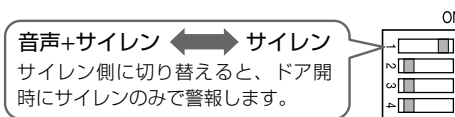


ドア開検出の警報設定

ドア開検出をサイレン側に切り替えると、ドアが開けられた場合、サイレンのみで警報します。

1 バッテリーカバーを開け、電池を取り出す

2 バッテリーケース内のディップスイッチNo.1 (ドア開検出)をボールペンの先などで切り替える



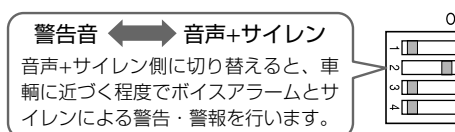
※ ドア開検出をサイレンに設定していても、車外検出を音声+サイレンに設定すると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

車外検出の警報設定

車外検出を音声+サイレンに切り替えると、車輦への接近やウィンドウへの衝撃に対してボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。

※ 車輦への接近とウィンドウへの衝撃感知時の警報は個別に設定できません。

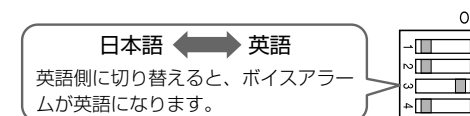
1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.2 (車外検出)をボールペンの先などで切り替える



ボイスアラームの音声切替

ボイスアラームを英語にすることができます。

1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.3 (音声切替)をボールペンの先などで切り替える



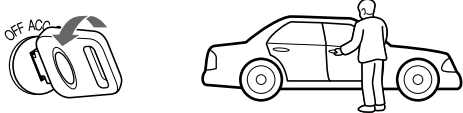
2 コードを挟まないように注意して、バッテリーカバーを閉める

セキュリティを設定する

1 すべてのウィンドウを完全に閉める

2 エンジンを切り、降車してドアを閉める

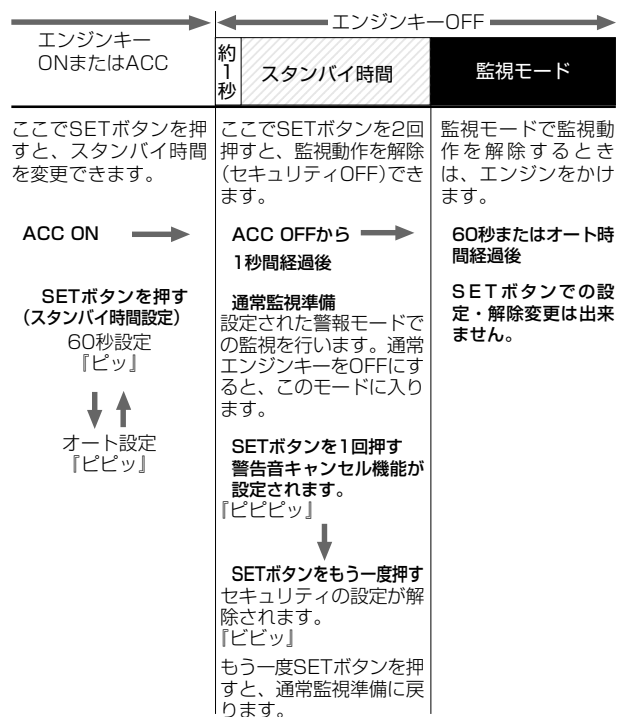
エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、監視モードに入るまでにドアを閉め、車から離れてください。



スタンバイ時間について

本機は、エンジンキーをOFFにするると約1秒後にピープ音が鳴り、スタンバイ時間となります。その後、一定時間(60秒またはオート※)を経過すると、監視モードになります。

※スタンバイ時間は、60秒(工場出荷時)の設定をおすすめします。



- 監視モード中には、SETボタンを押しても監視モードを解除できません。

スタンバイ時間の変更について

スタンバイ時間を変更するときは、エンジンキーがONまたはACCのときにSETボタンを押してください。

- スタンバイ時間は、SETボタンを押すたびに、図のように設定され、設定時間をピープ音でお知らせします。

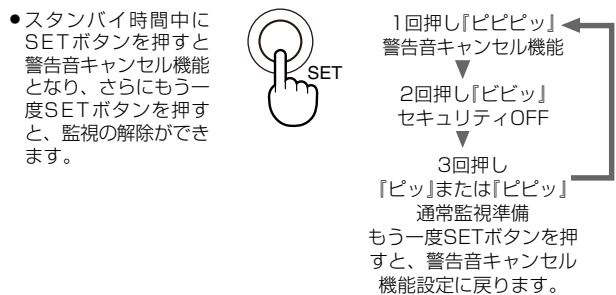


警告音キャンセル機能について

エンジンキーOFF後、スタンバイ時間中にSETボタンを1回押すと『ビビッ』と鳴り、警告音キャンセル機能に設定されます。再度SETボタンを押すと監視動作を解除します。

警告音キャンセル機能中は、車輛の周囲を人が歩く程度(通常の監視モードで『ビッ』と鳴る程度の異常)では、警告音を発しません。ドア開や車内侵入などの大きな異常では通常の警告・警報をしますので、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。警告音キャンセル機能は、エンジンキーACCで解除されます。

※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、感度の設定や車輛の通過など大きな動きを感知した場合は、警告・警報を行う場合があります。



※警告音キャンセル機能設定後、本機リモコンでマニュアルアンロック操作を行うと、警告音キャンセル機能が設定されません。

監視モードについて

監視モードになると、みはりインジケーターが早い点滅から遅い点滅に変わります。監視中に車輛周辺の動体を感知した場合やドアが開いたときは、警告ランプが点滅し、ボイスアラームとサイレン(またはサイレンのみ)で警告・警報します。

エンジンキーの位置	ACCまたはON	OFF	
セキュリティの動作	動作解除	動作中	
		スタンバイ時間	監視モード(スタンバイ時間経過後)
バッテリーインジケーター	点灯(充電モード)	消灯	消灯
みはりインジケーター	消灯	早い点滅(0.6秒間隔)	遅い点滅(5秒間隔)

監視中に異常を感知すると

監視中に異常を感知したときには、次のような警告・警報を発します。

[車輛への接近を感知したとき]

車外検出を警告音に設定している場合	
ボイスアラーム	警告音が『ビッ』と鳴り、警告ランプが1回点滅またはハザードランプが3回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると、7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません) ※警告ランプは、感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。
車外検出を音声+サイレンに設定している場合	
ボイスアラーム	『ビッビッビッビッ……(10回)』 『異常を検出しました。解除してください』 『異常を検出しました。解除してください』 『ビッビッビッ……ビッ[サイレン]、警告します。警告します』 『すぐに退去しないで。不法侵入を通報します』
警報	『キューーン、キューーン……キューーン[サイレン]』(7回繰り返す)
ボイスアラーム	『すぐに退去しないで。不法侵入を通報します』

※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

[ドア開や車内侵入を感知したとき]

(ドア開検出を音声+サイレンに設定しているときの日本語での警告・警報)
※車内での動きを感知した場合や、車輛周辺での大きな動きを感知した場合にも以下のような警告・警報となります。

ボイスアラーム	『ビッビッビッビッ……(10回)』 『異常を検出しました。解除してください』 『異常を検出しました。解除してください』 『ビッビッビッ……ビッ[サイレン]、警告します。警告します』 『すぐに退去しないで。不法侵入を通報します』
警報	『キューーン、キューーン……キューーン[サイレン]』(7回繰り返す)
ボイスアラーム	『すぐに退去しないで。不法侵入を通報します』

ドア開や車内侵入を感知すると警告音『ビッビッビッビッ……(10回)』が鳴り、ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒間の警告・警報後、監視モードに戻りますので、万一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感知し、警告・警報を繰り返します。

※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

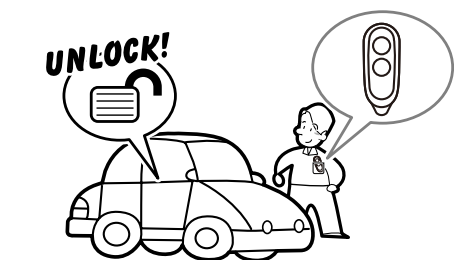
(ドア開検出をサイレンに設定しているときの警報)

ドア開検出をサイレンに設定しているときは、サイレンによる警報のみを60秒間行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。警報後は監視モードに戻りますので、万一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感知し、警報を繰り返します。

※車外検出を音声+サイレンに設定していると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

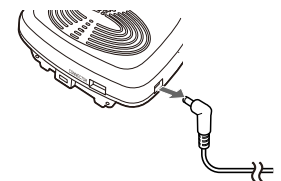
- 強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報する場合があります。
- 接近を感知した後、ドアが開けられた場合などでは、先に感知した警告・警報途中であっても、ドア開や車内侵入などの大きな異常を優先します。

本機はオートキーレスシステムを利用し、リモコン所持者をオーナーとして認識するので、オーナーの接近では警報・警告しません。

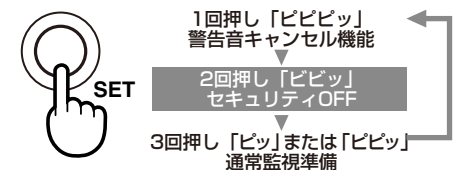


セキュリティを設定したくない場合

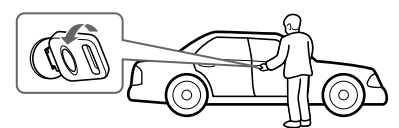
- ① セキュリティユニット接続コードをはずす。



- ② 1秒後(スタンバイ時間中)にセキュリティユニットのSETボタンを2回押す。



- ③ 車から降りて本機リモコンまたはエンジンキーでドアをロックする。



故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
充電しない	●セキュリティユニット接続プラグが外れていませんか。 ●車のエンジンキーがACCまたはONの位置になっていますか。
セキュリティが設定されない	●電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。 ●電池のコネクターがはずれていませんか。バッテリーカバーを開け、確認してください。 ●エンジンキーがOFFの位置になっていますか。 ●エンジンキーをOFFにしてから、監視モードに入るまでの時間が経過していますか。本機は、エンジンキーをOFFにすると約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間(60秒またはオートから選択)経過しないと、監視動作に入りません。
警告・警報しない	●電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。 ●エンジンキーがOFFの位置になっていますか。
オートキーレス機能が働かない	●オートキーレス機能が停止に設定されていませんか。 オートキーレス機能を使用する/停止するの項目を参照の上、使用するに設定してください。 ●電池が消耗していませんか。 リモコン内臓電池が消耗していると、リモコンのバッテリーインジケータランプが点滅して、オートキーレス機能が停止され、マニュアル操作のみ可能となります。さらに、電池の消耗が進むとインジケータランプの点滅がとまり、マニュアルでの操作もできなくなります。
ジャンクションユニットから連続して「ピッ」音が鳴る	●バッテリー交換など常時電源が一度切れた後にリモコンの信号を受信すると「ピッ」音が続きますが、エンジンキーをACCにすると止まります。これは、アンテナの取り付け時などに、アンロックエリアの最小レベル内にリモコンが「ピッ」音を鳴らして最小レベルの範囲をお知らせする機能です。

仕 様

■受信機（ジャンクションユニット）

受信周波数	314.950MHz
電源電圧	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：6mA以下 待機時：約10mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	81(W)×24(H)×60(D)mm(ケーブル含まず)
重量	158g(ケーブル含む)

■送信機(リモコン)

送信周波数	314.950MHz
適合技術基準	微弱無線機
電波型式	F2D
送信出力	500μV/m以下 3m地点にて
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	31(W)×80(H)×12(D)mm
重量	27g(電池含む)

■セキュリティユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
電源電圧	DC12V(入力電圧)
使用電池	DC3.6V(ニッケル水素電池)
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
消費電流	監視モード…0.4mA(標準)、0.5mA(最大) 警報モード…430mA(標準)、500mA(最大) 充電モード…急速充電 400mA、初期充電 80mA、
警報音圧	110dB/15cm(サイレン) 70dB/15cm以上(ボイスアラーム)
動作温度範囲	－20℃～＋70℃
本体外形寸法	80(W)×33(H)×101.5(D)mm(突起部を除く)
本体重量	134g(ニッケル水素電池、サンバイザークリップを含む)

※ 仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

別売品

- 追加リモコン A-102K 標準価格9,800円(税別)
本機付属のリモコンの他に、もう1つリモコンを持つことができます。
- ハザード制御 A-18SF 標準価格5,800円(税別)
本機によるロック/アンロック時にハザードランプを1回/2回点滅して施錠/解除をお知らせします。さらにセキュリティ監視中に不審者の車輛接近を感知するとハザードランプを3回点滅して威嚇します。
- 無線イモビライザー A-23SF 標準価格5,800円(税別)
本機ロック動作によりイモビライザー機能が働き、模造キーなどによる車輛盗難を防止するためにエンジンキーではエンジンの始動ができなくなります。本機アンロック動作によりイモビライザー機能は解除されます。

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

車載ユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(下記の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、追加リモコンをお買い求めください。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。

また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ)本書のご提示がない場合
 - (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
 - (リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は本書22ページをご覧ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日 9：00～17：30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター

TEL. (0564)45-6515

電子メールでのお問合せ先

service@yupiteru-pro.com

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。